

福祉保健部健康対策課

1 母子保健事業

(1) 母子健康手帳交付

妊娠届等より交付 1,243 件

(2) 母子保健推進員活動

母子保健事業の一環として米子市内の助産師等有資格者と委託契約を結び、次のとおり事業を推進した。

ア 母子保健推進員 15 名

イ 推進員による家庭訪問及び指導

訪問事業名	件数	指導内容	件数
新生児及び乳児指導	925 件	母子保健の問題点の把握	1,837 件
妊婦及び産婦指導	912 件		

(3) 妊婦健康診査

妊婦の方に対し、妊婦健診の公費助成を一人あたり、上限 14 回実施した。

ア 妊婦一般健康診査

(7) 受診票交付者数 1,273 人

(4) 受診者数及び受診結果

	受診者数	受診結果	
		異常なし	異常あり
第 1 回目	1,161 人	1,088 人	73 人
第 2～5 回目、第 8～14 回目	10,615 人 (延べ人数)	9,755 人	860 人
第 6 回目 (ヒト T 細胞白血病ウイルス (HTLV-1) 抗体検査を含む)	1,097 人	925 人	172 人
第 7 回目 (B 群溶血性レンサ球菌 (GBS) 検査を含む)	1,013 人	881 人	132 人
クラミジア検査 (1 人あたり 1 枚交付、第 1～14 回目のいずれかの受診票と使用)	1,171 人	1,145 人	26 人

※「異常あり」には、妊娠貧血、骨盤位等含む。

(7) B 型肝炎母子感染防止事業

B 型肝炎ウイルスキャリアの早期発見をし、母子感染を未然に防ぐことに努めた。

受診者数	陽性者
1,161 人	2 人

(エ) 子宮頸部がん検診(平成 20 年度から実施)

子宮頸部がん検診により、子宮頸部がんの早期発見に努めた。

受診者数	要精検
1,160 人	31 人

イ 多胎妊娠妊婦健康診査

多胎妊娠妊婦の方に対し、妊婦健診の公費助成を 5 回追加実施した。

受診票交付者数	受診者数 (延べ)	受診結果 (延べ)	
		異常なし	異常あり
29 人	17 人	13 人	4 人

(4) 産後健康診査

産後健康診査の公費助成を一人あたり、上限2回実施した。

ア 受診票交付者数 1,211人

イ 受診者数及び受診結果

	受診者数	受診結果			
		異常なし	経過観察	要精検	要治療
1回目	1,115人	880人	228人	4人	3人
2回目	857人	733人	119人	2人	3人

(5) 乳児一般健康診査

3~4か月児及び9~10か月児を対象に乳児一般健康診査受診票を交付し、医療機関に健康診査を委託し実施した。

ア 受診状況

	受診票交付数	受診者
3~4か月児	1,205人	1,133人
9~10か月児	1,238人	987人

イ 受診結果

	異常なし	要精密	要経過観察	要治療	既治療
3~4か月児	996人	21人	38人	9人	69人
9~10か月児	868人	14人	46人	3人	56人

(6) 妊婦一般健康診査費用助成金制度

里帰り出産などの理由で、本市に住民票を置いたまま、委託外医療機関又は委託外助産所において妊婦健診を受ける場合に、市の定める助成金を上限として健診費用を助成した。

対象人数	助成金額
70人	1,939,860円

(7) 産後健康診査費用助成金制度

里帰り出産などの理由で、本市に住民票を置いたまま、委託外医療機関又は委託外助産所において産後健診を受ける場合に、市の定める助成金を上限として健診費用を助成した。

対象人数	助成金額
76人	543,644円

(8) 6か月児健康診査

6か月児を対象に健康診査を行い、心身障がいや先天的な心臓疾患・整形外科的疾患などの早期発見や適切な治療・指導に努め、併せて育児不安の強い母親に対しての育児相談や離乳食・口腔衛生指導を行った。

また、絵本の読み聞かせによる子どもと保護者との触れ合いの促進等を目的にブックスタートを実施した。

ア 受診状況

対象者	受診者	受診率
1,132人	1,092人	96.5%

イ 診断結果

異常なし	精検	要経過観察	要治療	既医療（観察中・治療中）
959人	10人	40人	0人	83人

(9) 1歳6か月児健康診査

1歳6か月児を対象に軽度の精神発達遅滞や視覚障がいや難聴などの異常を発見し、早期の治療、支援に結びつけた。言語や認知発達など子どもの素因と親からのかかわりなどの環境要因の双方に注目して、広汎性発達障がいや注意欠陥・多動性障がいなど社会性の障がいにつながる状態への早期支援や健康な生活習慣の獲得につながるよう歯科健診、口腔衛生指導、食事相談、育児相談等を行った。また、むし歯予防対策として希望者に対しフッ素塗布を行った。

令和3年11月より、2段階方式の健診を実施した。(集団健診受診後に個別健診受診)

※ア-受診状況、イ-診断結果については、令和4年6月末時点で個別健診まで受診した人数とする。

ア 受診状況

区分	対象者	受診者	受診率
1歳6か月児健康診査	1,184人	1,152人	97.3%
精密健康診査	19人	18人	94.7%
歯科健康診査	1,184人	1,169人	98.7%
フッ素塗布	1,184人	1,128人	95.3%

イ 診断結果

異常なし	精検	要追跡観察	要治療	既医療(観察中・治療中)
908人	19人	151人	4人	70人

必要な者61人に対して1歳6か月児事後健康診査を実施した。

(10) 3歳児健康診査

幼児期において身体発育及び精神発達の面から最も重要な時期である3歳児に対し、医師、歯科医師による総合的な健康診査を実施し、児童の健全な育成のために指導を行った。また、むし歯予防対策として希望者に対しフッ素塗布を行った。

ア 受診状況

区分	対象者	受診者	受診率
3歳児健康診査	1,181人	1,152人	97.5%
精密健康診査	101人	78人	77.2%
歯科健康診査	1,181人	1,152人	97.5%
フッ素塗布	1,181人	1,033人	87.5%

イ 診断結果

異常なし	精検	要経過観察	要治療	既医療(観察中・治療中)
686人	101人	272人	6人	87人

必要な者33人に対して3歳児事後健康診査を実施した。

(11) 5歳児よなごっ子健診

発達・社会性・集団の場面での課題がある児童の早期発見・早期支援を開始するための気づきの場となること、児童のより健全な育成のための支援に繋げ、保護者の就学への不安解消、児童への適切な対応や就学に向けての準備となることを目的に実施した。

ア 実施状況

(ア) 一次健診

年度中に5歳に到達する全児童を対象とし、保護者へアンケート(SDQ)によるスクリーニング方式

区分	対象者	返送者数	割合
一次健診	1,300人	1,221人	93.9%

保護者の回答を3段階で評価(支援の必要性が「低い」「いくらかある」「ある」)、結果を全保護者に通知した。

区分		人数	割合
支援の必要性	低い	726人	59.5%
	いくらかある	235人	19.2%
	ある (相談希望なし)	150人	12.3%
	ある (相談希望あり)	110人	9.0%

(イ) 5歳児相談会

一次健診の結果、支援の必要性があり、保護者が相談会を希望する場合、心理士による発達・子育て相談及び学校教育課指導主事による就学相談を実施した。

実施回数	参加者
18回	69人

(7) 二次健診

一次健診の結果、支援の必要性あり、かつ保護者が医師の診察を希望する場合、児童・保護者に対し、医師相談、子育て相談、心理・発達相談、就学相談を実施した。保護者の希望がある場合は園の保育者も同席した。

区分	実施回数	参加者
二次健診	6回	13人（うち園の同席7人）

(12) 健康教育

区分	回数	延人員	備考
離乳食	27回	257人	5～6か月児と8～9か月児を対象に実施した。
のびのび親子教室	9回	158人	1歳6か月児健診の事後健診対象児とその保護者を対象に発達を促すための運動・助言・情報交換を行った。

(13) 健康相談

区分	回数	延人員	備考
マタニティー&ベビー相談（来所）	238回	272人	育児に関する相談及び妊婦に対する健康相談を実施した。 月～金曜日
マタニティー&ベビー相談（電話）	238回	354人	
赤ちゃんすくすく相談	11回	475人	育児、栄養、歯科等の相談を実施した。

(14) 家庭訪問

区分	保健師	栄養士	心理士	計
妊婦	33人	0人	0人	33人
産婦	301人	1人	0人	302人
新生児	74人	0人	0人	74人
未熟児	10人	0人	0人	10人
乳児	335人	8人	4人	347人
幼児	113人	1人	27人	141人
その他	1人	0人	5人	6人
計	867人	10人	36人	913人

(15) 来所相談

区分	保健師	栄養士	心理士	計
妊婦	41人	0人	0人	41人
産婦	25人	0人	0人	25人
新生児	0人	0人	0人	0人
未熟児	4人	0人	0人	4人
乳児	93人	10人	6人	109人
幼児	56人	3人	82人	141人
その他	7人	0人	21人	28人
計	226人	13人	109人	348人

(16) 電話相談

区分	保健師	栄養士	心理士	計
妊婦	129人	1人	0人	130人
産婦	126人	0人	0人	126人
新生児	23人	0人	0人	23人
未熟児	8人	0人	0人	8人
乳児	337人	33人	8人	378人
幼児	495人	9人	52人	556人
その他	14人	2人	1人	17人
計	1,132人	45人	61人	1,238人

(17) ケース会議

区分	保健師	栄養士	心理士	計
妊婦	8人	0人	0人	8人
産婦	5人	0人	0人	5人
新生児	1人	0人	0人	1人
未熟児	2人	0人	0人	2人
乳児	12人	0人	0人	12人
幼児	29人	0人	4人	33人
その他	2人	0人	0人	2人
計	59人	0人	4人	63人

(18) 歯科衛生委託事業

鳥取県西部歯科医師会に業務委託し、歯科衛生士3～4名により次のとおり事業を実施した。

- ア 1歳6か月児を重点とした歯科健診及び事後措置
- イ 乳幼児及びその保護者に必要な保健指導及び予防活動
- ウ その他口腔衛生の向上に必要な事業

(19) 不妊治療費助成事業

不妊治療に要した経費の一部を助成することによりその経済的負担の軽減を図り、妊娠及び出産を望む夫婦が安心して子どもを産み育てることができる環境を整備するため、治療費に対する助成を実施した。

区分	件数	助成金額
特定不妊治療	288件	10,083,762円
人工授精	111件	998,759円

(20) 未熟児養育医療費給付事業

身体の発育が未熟なまま生まれ、入院を必要とする1歳未満の赤ちゃんに対し、必要な医療の給付等を行った。

件数	給付金額
31件	9,946,257円

(21) 産後ケア事業

産後4か月未満で、必要な支援が受けられず強い育児不安のある者に対し、委託産科医療機関等にて実施した。

	利用実績	利用実人数
ショートステイ	139日	34人
デイケア	33日	16人

※ ショートステイ・デイケアの利用は、重複する場合あり。

(22) 産後ヘルプ事業

出産直後の産婦及び多胎で出産した乳児を養育する母親で、家事等の援助を行う者がいない家庭に対し、ケアサービス米子からヘルパーを派遣し、産後の生活支援を実施した。

利用者数	総利用時間
4人	25時間

(23) はじめてばこ事業

食品・生活用品を、赤ちゃんの生まれた希望する家庭に、鳥取県生活協同組合の協力を得て送付した。

件数
732件

(24) 新生児聴覚検査費助成事業

経済的な理由により新生児聴覚検査を受診することが困難な世帯に対し、新生児聴覚検査費の助成を実施した。

件数	給付金額
1件	3,000円

2 健康増進事業

令和3年度米子市高齢者保健福祉計画関連実績総括表

事業等名称	令和3年度実績	事業等名称	令和3年度実績	
健康教育 一般健康教育回数	383回	健康診査 米子市健診受診率	12.0%	
重点健康教育回数	14回		胃がん検診受診率	25.7%
健康相談 総合健康相談回数	359回		肺がん検診受診率	26.0%
重点健康相談回数	2回		大腸がん検診受診率	25.4%
訪問指導 訪問指導延べ人数	実績なし		子宮がん検診受診率	22.9%
			乳がん検診受診率	13.9%
		ふしめ歯科検診受診率	1.9%	

(1) 健康教育

健康に関する知識の普及や啓発を目的に、保健センター又は地区において医師、保健師、栄養士等により、一般健康教育と病態別等の重点健康教育を開催した。

	開催回数	参加延人員	備考
一般健康教育	383回	6,651人	運動、食生活等
重点健康教育	14回	192人	病態別（糖尿病、高血圧、心臓病、肥満等）、 歯周疾患、骨粗鬆症、薬の話
計	397回	6,843人	

(2) 健康診査

米子市健康診査、肺がん検診、胃がん検診、子宮がん検診、乳がん検診及び大腸がん検診の受診券を1枚にまとめ、40歳、45歳、50歳、55歳の節目年齢の者、60歳以上の者、40歳以上の国民健康保険の加入者及び20歳以上の女性、過去4年間に米子市の受診券で受診したことがある方に送付した。

※がん検診の精密検査については、令和4年6月1日時点の人数とする。

ア 米子市健康診査

93の医療機関で7月から12月に実施した。

(ア) 受診状況

	米子市健康診査
対象者数	2,015人
受診者数	242人
受診率	12.0%

※ 対象は、40歳以上の生活保護世帯に属する者及び令和3年4月2日以降国保加入者

(イ) 受診者内訳

生活保護	187人
その他	55人

イ 肝炎ウイルス検査

健康増進法（平成14年法律第103号）に基づき、B型・C型肝炎ウイルス検査を実施した。

年齢階層	受診者数	異常なし	HBs抗原のみ陽性	HCV抗体のみ陽性	HBs・HCV陽性
40～49歳	271人	270人	1人	0人	0人
50～59歳	175人	175人	0人	0人	0人
60～69歳	306人	301人	5人	0人	0人
70歳以上	294人	288人	6人	0人	0人
計	1,046人	1,034人	12人	0人	0人

ウ 胃がん検診

検診車による集団検診及び57医療機関での個別検診を7月から1月15日まで実施した。

(7) 受診状況

区 分		受診者数	
集団検診 (X線検査)		313 人	
個別検診	X線検査	217 人	11,047 人
	内視鏡検査	10,830 人	
計		11,360 人	

(4) X線検査結果

区分	受診者数	異常なし	要精密者	精密検査 受診者	精密検査受診結果			
					異常 なし	がんの 疑い	がんで あった者	その他
集団検診	313 人	299 人	14 人	13 人	3 人	0 人	1 人	9 人
個別検診	217 人	196 人	21 人	17 人	3 人	0 人	0 人	14 人
計	530 人	495 人	35 人	30 人	6 人	0 人	1 人	23 人

(5) 内視鏡検査結果

受診者数	異常なし	がんの疑い	がんであった者	その他
10,830 人	2,077 人	12 人	34 人	8,707 人

エ 子宮がん検診

検診車による集団検診と12医療機関で7月から1月に実施した。

(7) 受診状況

区分	受診者数	要精密者数
頸部	7,374 人	100 人
体部	294 人	16 人

※「要精密者数(頸部)」は、一次「要精密(1)」+「要精密(2)」+「判定不能のうち再検を実施しない者」+「判定不能」

(4) 精密検査結果

区分	受診者数	異常なし	がんの疑い	がんであった者	その他
頸部	55 人	17 人	27 人	0 人	11 人
体部	12 人	6 人	1 人	2 人	3 人

オ 乳がん検診

マンモグラフィ併用検診の方法で6医療機関と2検診機関(集団検診)で7月から1月に実施した。

(7) 受診状況

区分	受診者数	要精密者数
マンモ併用検診	3,849 人	325 人

(4) 精密検査結果

区分	受診者数	異常なし	がんの疑い	がんであった者	その他
マンモ併用検診	316 人	118 人	2 人	22 人	174 人

カ 肺がん検診

集団検診は、結核健康診断に併せて実施した。個別検診は人間ドックを7月から12月、それ以外を7月から1月15日まで実施した。(57医療機関)

(7) 受診状況

区分	受診者数	X線のみ	X線+喀痰	要精密者数
集団検診	1,119 人	1,091 人	28 人	32 人
個別検診	10,343 人	9,946 人	397 人	410 人
計	11,462 人	11,037 人	425 人	442 人

(イ) 精密検査結果

区分	受診者数	異常なし	がんの疑い	がんであった者	その他
集団検診	34人	20人	2人	0人	12人
個別検診	450人	199人	8人	12人	231人
計	484人	219人	10人	12人	243人

キ 大腸がん検診

84医療機関で7月から1月15日に実施した。

(7) 受診状況

受診者数	要精密者数
11,196人	984人

(イ) 精密検査結果

受診者数	異常なし	がんの疑い	がんであった者	その他
716人	178人	2人	35人	501人

ク 肝臓がん対策事業

B型・C型肝炎ウイルス陽性者に対し年一回の定期検査の勧奨を行った。

区分	対象者数
B型肝炎ウイルス陽性者	581人
B型・C型肝炎ウイルス陽性者	4人
C型肝炎ウイルス陽性者	142人

ケ ふしめ歯科検診

40歳、50歳、60歳、70歳のふしめ年齢の者を対象とし、西部歯科医師会委託医療機関で実施した。

対象者	受診者数
7,701人	145人

(3) 健康相談

保健センター、各地区公民館において保健師、看護師、栄養士等による健康相談を実施した。

区分	回数	延人員
総合健康相談	359回	1,862人
重点健康相談	2回	4人
計	361回	1,866人

(4) 訪問指導

令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実績なし。

3 介護予防事業

(1) フレイル対策推進事業

ア 市内全域

(7) 健康支援教室等

令和3年度より、市内全域でフレイルに関する健康支援教室等を実施。各地域との協力体制のもと、活動状況に合わせて実施した。

フレイル度チェック及び個別指導を4回、フレイル予防教室を1回、栄養教室を1回実施。

(イ) フレイル度チェック

市内在住の65歳以上の者(要介護1～5の者は除く)

a 実施状況

対象者数	実施者数(延人数)	実施者数(実人数)	実施率
36,968人	13,258人	12,869人	34.8%

b 実施結果

健康	プレフレイル	フレイル
54%	30%	16%

イ 永江地区

令和元年度より、フレイル状態の進行抑制と改善を通して健康寿命を延伸することを目的に、永江地区をモデルにフレイル対策を開始している。尚徳地域包括支援センター及びびなんぶ幸朋苑と共同実施。

(7) フレイル予防サポータースキルアップ講座

フレイル予防サポーターを対象に9月に開催。8人が参加した。

(4) 介入支援教室

令和2年度に実施した「フレイル度チェック」で「プレフレイル」「フレイル」に該当した者のうち希望者が参加。

a 実施期間 9月～12月 3カ月(8回)を1クールとして開催

b 参加者 16人

(9) 元気でふる会

令和2、3年度の介入支援教室参加者(卒業生)を対象に体力測定及び交流会を開催し、3期卒業生(7人中1人)、4期卒業生(16人中7人)の計8人が出席した。

(5) フレイル度チェック

永江地区在住の64歳以上の者(要介護1～5の者は除く)を対象に実施

a 実施状況

対象者数	実施者数	実施率
977人	533人	54.6%

b 実施結果

健康	プレフレイル	フレイル
61%	25%	14%

(2) フレイル予防・健康づくり推進事業

新型コロナウイルスワクチン集団接種会場に来場された65歳以上の高齢者に対し、フレイル度チェックを実施した。

ア 実施状況

対象者 : 新型コロナウイルスワクチン集団接種会場に来場した米子市在住の65歳以上の方

実施者数 : 8,165人

イ 実施結果

健康	プレフレイル	フレイル
56%	29%	15%

(3) 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施

生活習慣病対策・フレイル対策・介護予防を一体的に実施し健康寿命の延伸を図るため、令和2年度より鳥取県後期高齢者医療広域連合からの委託を受け、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に取り組んでいる。日常生活圏域(11中学校区)に配置した地区担当保健師を中心に医療専門職や地域包括支援センターと連携して事業を実施した。

ア ポピュレーションアプローチ(各地区の通いの場等でフレイル予防啓発)

各種地域組織会、サロン、公民館講座、「出張!なんでも健康相談(令和2年9月から29公民館で月1回、半日開催)」等でフレイル予防についての普及啓発及びフレイル度チェック(基本チェックリスト)等を実施。

実施状況

フレイル説明・体操等実施（延べ）	参加人数（延べ）
1,478回	16,881人

イ ハイリスクアプローチ（個別的支援）

対象者に対して地区担当保健師及び地域包括支援センター職員が訪問を実施。必要に応じて医療の受診勧奨や栄養指導、地域包括支援センター等と連携した。

対象①：「**低栄養防止**」R3年度の健診結果で、BMI20以下かつ昨年度の健診時よりも体重が2キロ以上減少した者（75歳以上85歳未満）

対象②：「**重症化予防（その他生活習慣病）**」R2年度の健診結果で、要治療であったが未治療者。また、昨年度同アプローチをした者の中で再度アプローチが必要と思われる者

対象③：「**健康状態不明者対策**」R2度に4年間医療機関・歯科・健診未受診だった方237人のうち、再度状況を確認する必要がある者（認知能力に心配がある者、自覚他覚症状あるが医療受診の無い者、所在不明者等）

対象④：「**鳥大医療連携でのフレイル対象者**」鳥取大学医学部附属病院が入院する者に実施するフレイル度チェック（基本チェックリスト）で、プレフレイル又はフレイルに該当した者

対象⑤：「**グラント70購入者のフレイル対象者**」庁内交通政策課が自動車免許返納者等、高齢者を対象とするバス定期券割引サービス（グラント70）利用者に基本チェックリストを実施しており、フレイルに該当した者

対象⑥：「**コロナワクチン会場でのフレイルチェックでうつ傾向の者**」コロナワクチン接種会場で実施するフレイル度チェックの結果、フレイル該当者のうち心の健康リスクが高い者（5問中5問該当）

(7) 実施者数（人）

対象①	対象②	対象③	対象④	対象⑤	対象⑥	計
35人	43人	27人	19人	24人	53人	201人

(4) 介護予防・日常生活支援総合事業（一般介護予防事業）

65歳以上を対象に運動機能の向上及び地域活動支援を行った。

ア がいなみつく予防トレーニング

一人につき運動指導を3か月間、週1回実施。

利用延人数	開催会場数
2,766人	14カ所

イ ふらっと、運動体験

運動習慣のきっかけ作りとして定期的に開催した。

利用延人数	開催会場数
4,078人	4カ所

ウ ショッピングリハビリ

自力で買い物ができない方に買い物支援と併せて運動指導を行った。

利用延人数	開催会場数
975人	5カ所

エ 地域リハビリテーション活動支援

リハビリテーション専門職を地域の通いの場や対象者の自宅へ派遣し、講義や実技アドバイスをを行った。

支援回数
26回

※派遣依頼及び調整は33回であったが、うち7回はコロナ対策のため中止

オ 健康づくり・やっぴ未来や塾

地域で取り組むサロン等に運動指導者を派遣し、継続的、効果的な活動につながるよう支援した。

支援回数	開催会場数
83 回	32 ヲ所

カ 健康づくり・地域サポート講座

健康づくりを地域ぐるみで取り組むための人材育成を行った。

参加延人数	開催回数
129 人	6 回

キ 介護予防地区講座

介護予防に関する知識の普及や啓発のため、医師、薬剤師、リハビリテーション専門職、健康運動指導士等により公民館にて講座を開催した。

参加延人員	開催回数
700 人	28 回

(5) フレイル対策拠点事業

市民が日常的にフレイル予防に触れる機会を創出するため、市内にフレイル対策拠点を設置し、フレイル度の把握、フレイル予防実践及び情報発信を実施した。令和3年度は市内2カ所に拠点を設置した。

ア Chukai コムコムスクエア

(7) ふらっと運動体験・まちなか健幸習慣

参加延人員	開催回数
699 人	21 回

(4) フレイル予防講座（各種健康講座）

参加延人員	開催回数
101 人	10 回

イ 白鳳の里（淀江ゆめ温泉）

(7) フレイル度チェック

実施者数	実施回数
496 人	39 回

(4) 介入支援教室（フレッシュアップスクール）

「フレイル度チェック」において「プレフレイル」「フレイル」に該当した者のうち希望者が参加。実施期間3ヵ月（全12回）の教室

参加実人数	開催期数
49 人	5 期

(4) フレイル予防講座（各種健康講座）

参加延人員	開催回数
130 人	34 回

(6) 鳥取県後期高齢者医療制度特別対策補助金

健口機能向上事業

後期高齢者に対し、集団での口腔歯科健診を実施するとともに、ミニ講演や予防体操などの健康教育を行った。

利用人数	開催地区数
59 人	7 地区

(7) ネギトレプロジェクト事業

健康寿命の延伸と切れ目のない健康づくりの実現のため、鳥取大学医学部附属病院及び社会福祉法人こうほうえんと協働し、トレーニングプログラム集（ネバーギブアップトレーニング 通称：ネギトレ）を作成した。また、これを普及啓発するためのネギトレダンスを作成し、23 団体 350 人の市民が実際にダンスを踊る様子を撮影し、啓発用動画を公開した。

4 健康づくり事業

(1) 栄養改善

ア 生活習慣病予防

一般住民を対象に、管理栄養士が生活習慣病予防の食事指導と試食を行った。

27 箇所 受講生 175 人

イ 男性のための健康づくり&クッキング教室

一般住民を対象に、男性のための！健康づくり&クッキング教室を開催した。

高齢化社会を迎え、男性も自分を含め、食事のあり方及び生活習慣病予防の食事について勉強する。

講話（バランス食、減塩食等）と調理実習を開催した。

10 回実施 参加延人数 141 人

(2) 保健推進員活動事業

市が行う保健事業の円滑な推進と、市民の健康づくりを積極的に取り組むため、米子市地区保健推進委員会を設置し、次の事業を行った。

ア 各種健康診査、健康相談等の受診勧奨並びに介助に関すること

イ 保健衛生意識の啓発及び普及並びに各種健康教育の案内に関すること

ウ 設置状況

29 地区 590 人

(3) 住民組織育成事業

ア 食生活改善地区組織活動

食生活改善推進員を対象に料理講習を行い、各地区公民館において地区住民に伝達を行った。親子の食生活共同体験事業を実施した。

(ア) 食生活改善推進員伝達講習 25 人（地区住民への伝達： 258 人）

(イ) 親子の食生活共同体験事業 52 人（地区住民への伝達： 252 人）

イ 食生活改善推進員教育

各校区 1～2 人ずつ米子市において、1 年間（6 回）教育を受け、修了後各地域でボランティア活動を行う。

(ア) 教育回数 6 回（30 時間）

(イ) 出席延人数 127 人

(ウ) 修了者 21 人

(4) 医療リテラシーの推進

医療リテラシーの考え方を広く市民へ普及させるため、秘書広報課と連携して広報活動を行った。

(5) 健康づくりに関する知識の普及

ゴミ分別収集カレンダー&健康ガイドを環境政策課と合同で作成し全世帯に配布した。

5 一般保健事業

(1) 献血推進事業

各事業所、団体等の協力により献血を実施した。(現在、赤十字血液センターの方針として、全血献血(400mL)を主に
行なっている。

献血方法	献血者数
全血献血(400mL)	1,705人

(2) 救急医療対策事業

鳥取県西部医師会が行う急患診療所運営費事業に対し、補助金を交付した。

ア 名称 西部医師会急患診療所

イ 所在地 米子市久米町136 西部医師会館内

ウ 運営主体 (社)鳥取県西部医師会

エ 診療日及び診療時間

休日:71日

日曜日、祝日、12月30日～1月3日 午前9時～午後10時

平日夜間:294日

上記以外の日

午後7時～午後10時

オ 受診者数 延 1,790人(内 米子市 1,324人)

(3) 休日救急歯科診療等事業費補助事業

ア 障がい者(児)歯科診療事業

鳥取県西部歯科医師会が行う障がい者(児)の歯科診療事業に対し、補助金を交付した。

受診者数 延 426人(内 米子市 301人)

イ 休日救急歯科診療事業

休日救急歯科診療業務を鳥取県西部歯科医師会に、委託実施した。

受診者数 延 669人(内 米子市 473人)

(4) 公衆浴場助成事業

公衆浴場の存続を図り地域住民の保健衛生の向上のため、公衆浴場確保対策として3事業者に補助金を助成した。また、原油価格高騰対策として重油を使用し湯を沸かす2事業者に補助金を助成した。

(5) 健康フェスティバル事業

市民の健康増進への関心の高揚を図るため「米子市ふれあい健康フェスティバル」を開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止した。

(6) 自死対策事業

普及啓発活動に取り組み、自死予防の意識の向上を図るため各種事業を実施した。

ア 健康講話による啓発

市民を対象に保健師による講話(14回) 延べ146人

民生委員・児童委員を対象としたゲートキーパー研修(1回) 24人

イ 自殺予防週間に啓発用Tシャツを職員着用、各種事業でポケットティッシュ配布

ウ 広報よなごに掲載(年1回)、米子市ホームページに掲載(3月)

エ パンフレットラック設置(保健センター、イオン米子駅前店、米子市立図書館)

オ 成人式配布物へ自死対策普及啓発チラシ・ティッシュの同封(1,250人)

カ 自死遺族の集い(主催:精神保健福祉センター)

ふれあいの里にて2か月に1回開催

6 感染症予防対策事業

(1) 予防接種

ア こどもの予防接種

予防接種委託医療機関で実施した。

種 別		対象者数	接種者数	種 別	対象者数	接種者数	
ロタウイルス ワクチン	1 価	1回目	1,112人	水痘	1回目	1,224人	
		2回目	1,112人		2回目	1,224人	
	5 価	1回目	1,112人	日本脳炎	1 期	1回目	1,282人
		2回目	1,112人			2回目	1,282人
		3回目	1,112人			追加	1,293人
						2期	1,335人
ヒブワクチン					麻しん風しん 混合ワクチン	1期	1,224人
	1回目	1,112人	1,168人			2期	1,283人
	2回目	1,112人	1,156人	1期		1,224人	
	3回目	1,112人	1,124人	2期		1,283人	
小児用肺炎球 菌ワクチン				麻しん ワクチン	1期	1,224人	
	1回目	1,112人	1,166人		2期	1,283人	
	2回目	1,112人	1,159人	風しん ワクチン	1期	1,224人	
	3回目	1,112人	1,125人		2期	1,283人	
				BCG	1,112人	1,107人	
百日せきジフ テリア破傷風 混合不活化ボ リオワクチン	1 期	1回目	1,112人	B型肝炎	1回目	1,112人	
		2回目	1,112人		2回目	1,112人	
		3回目	1,112人		3回目	1,112人	
		追加	1,189人	1,168人	子宮頸がん 予防ワクチン	1回目	701人
				2回目		701人	
ジフテリア 破傷風混合 ワクチン	2期		1,281人	899人	3回目	701人	
						257人	

イ 高齢者のインフルエンザ予防接種

予防接種委託医療機関（米子市、境港市、西伯郡、日野郡）で実施した。

対象者	接種者数
43,364人	27,767人

ウ 高齢者の肺炎球菌ワクチン接種

予防接種委託医療機関（米子市、境港市、西伯郡、日野郡）で実施した。

対象者	接種者数
5,975人	1,387人

エ おとなの風しんワクチン接種

妊娠を希望する女性と妊婦の夫が風しんワクチン（麻しん風しん混合ワクチンを含む。）を接種した場合、接種費用の全部又は一部を助成した。

件数	助成金額
139件	1,044,100円

オ 風しん追加的対策

昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性に、無料で風しんの抗体検査・予防接種を実施した。

対象者（昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性で過去に風しんの抗体検査や予防接種をしていない方）には、勸奨ハガキを発送し、市報などで検査・接種勸奨を行い、無料接種クーポン券の紛失者で接種希望するものにはクーポン券を再送付した。

対象者	抗体検査	予防接種
13,215人	687人	180人

(2) 結核健康診断

集団検診として、市内2会場で12日間にわたり実施し、受診者数は707人であった。(65歳以上を計上)うち、精密検査対象者は23人で、肺結核者は0人であった。また、医療機関での胸部撮影者は8,577人であった。

(3) 消毒液等散布

大雨等による床下浸水等への対応：なし

7 新型コロナウイルス感染症関係

(1) 新型コロナウイルス感染症対応

新型コロナウイルス感染症本部対策会議を計6回開催し、全国的な感染状況及び本市における感染状況の共有と対応策を協議した。また、小学校等、市の保有施設で陽性者が確認された際、管理者と協力し、消毒作業を行い、市のホームページなどで感染予防の啓発活動を行った。

(2) 新型コロナウイルスワクチン接種

ア 接種体制

個別接種、集団接種及び巡回接種の3つの体制の最適化を図りながら、接種対象者(12歳以上の者)、接種状況及び供給されるワクチン(ファイザー社製及び武田/モデルナ社製)の特性を踏まえ、次のとおり接種を実施した。

区分		接種回数
個別接種	1回目接種	60,489回
	2回目接種	59,786回
	3回目接種	40,282回
集団接種 巡回接種	1回目接種	34,414回
	2回目接種	34,363回
	3回目接種	15,571回

※住民登録地が市外の方を除く。

イ 個別接種

令和3年5月17日から個別接種を開始し、市内127医療機関の協力のもと接種を行った。

ウ 集団接種

令和3年4月24日から先行集団接種、5月15日から集団接種を開始した。

木曜日、土曜日及び日曜日を中心に最大6会場を開設した。各会場の開設期間は次のとおり。

会場	開設期間
福祉保健総合センター(ふれあいの里1階)	令和3年4月24日から
福祉保健総合センター(ふれあいの里4階)	令和3年4月24日から
米子市役所淀江支所	令和3年6月5日から
米子駅前ショッピングセンター	令和3年6月3日から9月26日
市民体育館	令和3年6月19日から6月27日
美保体育館	令和3年6月5日から6月13日
鳥取県立米子産業体育館	令和3年7月3日から8月1日
米子市役所第2庁舎	令和4年2月6日から3月27日

エ 小児接種

令和4年3月22日から小児接種を開始し、接種時点で5歳から11歳の小児を対象に、市内18医療機関の協力のもと

と接種を行った。また、鳥取県西部圏域住民の利便性を図るため、1市6町1村（米子市、大山町、南部町、伯耆町、日南町、日野町、江府町及び日吉津村）による広域化を実施し、各市町村の住民が圏域内の希望する医療機関等で接種できる体制を構築した。

	区分	接種回数
小児接種	1回目接種	203回
	2回目接種	0回

オ 接種証明書（ワクチンパスポート）発行

接種を証明するものとして、郵送及び窓口において次のとおり発行した。

日本国内用	5件
海外用及び日本国内用	307件

※新型コロナワクチン接種証明アプリ（デジタル庁提供）での発行を除く。

カ 住所地外接種届

住民登録地が市外の方が、本市で個別接種又は集団接種等を受けるための届出を次のとおり受付けた。

1・2回目接種	618件
3回目接種	178件

キ キャンセル待ち申請

接種日当日に、体調不良等のやむを得ない事情により急遽キャンセルが発生した場合に、ワクチンを廃棄せず有効活用する観点から、キャンセル待ち制度を設け、次のとおり受付けた。

12歳以上	1,126件
5歳から11歳	29件

8 地域保健活動関係

市内11中学校区に1名ずつ地区担当保健師を配置し、公民館や地域の活動の場で健康相談を行うなど赤ちゃんから高齢者まですべての年代の地域の市民を対象に健康づくりを支援した。また、医療専門職や地域包括支援センターと連携し、フレイル予防啓発活動や生活習慣病重症化予防対象者へ個別訪問を行った。